

個別の進捗状況に応じた励ましメッセージがもたらす学習モチベーションへの影響

福知山公立大学情報学部 32045107 渡邊恵佑
指導教員 山本吉伸

1. はじめに

これまでの研究では、人が学習者へ肯定的な励ましの言葉がけを行うことで、学習意欲、モチベーションを高めると明らかになっている[1]。しかし、文字や音声だけの励ましの言葉がけに関する研究については、ほとんど知られていない。

そのため、本研究では、人から励ましの言葉がけもらうのではなく、文字、音声のみの励ましの言葉がけが、学習者の学習モチベーションに与える影響について調査していく。

各学習者の TOEIC 重要単語学習の進捗(覚えている単語の数)に基づいて個別に生成される肯定的な励ましメッセージを提供するシステムを開発した。

このシステムを検証するため、福知山公立大学の同ゼミ内の大学生 10 人を対象に実験を行った。励ましシステムを使用するグループと使用しないグループで分けるために、事前に英単語学習に対するモチベーションの層別化を行うアンケートを実施した。さらに、事前に英単語テストも回答してもらった。そして、5 日間の学習期間を設け、終了後にまた単語テストと励ましを受けるグループのみにシステム評価アンケートを実施した。これが、本研究の実験の流れとなっている。

2. システム詳細

励ましシステムの詳細を記述していく。ユーザー登録(名前、パスワード)、ログインを行い、システムにアクセスする。図 1 が英単語を学習する画面となっている。日本語訳非表示ボタンを押すと、日本語訳の表示、非表示の切り替えができる。日本語訳の右側にあるチェックボックスは、その左にある単語を覚えることが出来たら、チェックするためのものとなっている。

図 2 の励ましてもらうボタンを押すと、あらかじめ用意した励ましのメッセージが表示され、音声と一緒に出力される。メッセージ例("毎日コツコツと学習する姿勢、本当に素晴らしいです。継続こそが成功への鍵です。")

学習を終了するボタンを押すと、ユーザー名、チェックした単語の数、励ましのメッセージが表示され、同じように音声と一緒に出力される。

システムにアクセス、終了時に時間を取得しており、英単語学習にかかった時間と頻度を収集できるようになっている。

日本語訳 非表示

attend 出席する
negotiate 交渉する
schedule 予定する
deadline 締切
evaluate 評価する
implement 実施する
efficient 効率的な

図 1 励ましシステム学習画面

励ましてもらう

学習を終了する

図 2 ボタン

3. 結果

システムを使用するグループと使用しないグループで、学習頻度や時間に有意的な差は見られず、学習モチベーションへの影響が確認できなかった。

4. 考察

今回の結果からは、文字と音声のみによる励ましの効果は見られなかった。励ましの言葉が定型文のため効果が出ない可能性があるのではないかと考えた。なぜなら、定型文ではなく個人の状況や感情に対応した励ましの言葉でないと学習者と励ましを行うものとの信頼関係が生まれず、学習モチベーションが向上しなかったのではないかと考えたためである。[2]の研究でも信頼感と学習意欲の高さに相関関係がみられると示唆されている。

5. まとめ

本研究では、文字、音声のみを使用した励ましシステムを開発、学習モチベーションに影響があるのかを実験した。頻度、時間に影響は、無かったが、文字や音声だけでも励ますという行為自体には、主観的に肯定的な意見が見られた。

参考文献

- [1] 坂本裕子(2004),第二言語習得における学習の動機付けと学習意欲:中国人日本語学習者の事例,(Doctoral dissertation,Aichi Shukutoku University)4,60-76.
[2] 中井大介, & 庄司一子. (2008). 中学生の教師に対する信頼感と学校適応感との関連.発達心理学研究, 19(1), 57-68.